

# 当面する諸案件を報告

## 大網白里市議会第2回定例会 市長事務報告

6月5日から25日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日に市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は市ホームページをご覧ください。

### 新型コロナウイルス感染症防止に関する市の取り組み

市では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市民への感染防止を最重点課題として、防災行政無線のほか、広報紙やホームページ、SNSなどにより、情報を発信してきました。

緊急事態宣言以降、市主催の会議やイベントは、中止や延期等の措置を取ったほか、公共施設は、原則として利用を停止していましたが、緊急事態宣言の解除を受け、順次利用を可能としています。

収入が減少した家庭や事業者に対しては、国や県の支援策に加え、市独自の支援策により給付金や支援金の増額を図り、できるだけ早く交付するよう作業を進めています。

「特別定額給付金」は、5月補正予算成立後の5月8日からオンライン申請を受け付け、郵送申請分は、5月19日から受付を開始しました。5月末時点で9割を超える方々から申請をいただき、本日まで約34,900人、全体の71%の給付を完了する予定です。

また、児童扶養手当または就学援助費の受給世帯に対し子ども1人当たり2万円を給付する市独自の支援策である「ひとり親世帯等生活支援給付金」は、概ね給付を完了しています。さらに、児童手当を受給する世帯に対する「子

### 防災および災害対策

昨年の台風等による一連の災害時の対応についての検証作業を進めており、「災害対策庁内検討会議」で中間報告を行いました。今後、出された意見等を踏まえ、最終報告を取りまとめ、ソフト・ハード両面から必要な対策を講じます。

この一連の災害により被災した方々への支援として、災害救助法の対象となる方々に対しては、日常生活に不可欠な部分の住宅の応急修理を、また、災害救助法の対象とならない方々に対しては、一定の金額を超える場合に修繕工事費の一部を補助しています。

5月末現在、応急修理の実績は13件、補助金交付の実績は155件にとどまっています。今後も引き続き、国・県とともに支援に取り組めます。

南玉地区の土砂崩れに伴う復旧作業は、現在、順調に工事が進んでおり、6月末までには、宅地内に流入した土砂の撤去、大型土のうによる土留めの設置を完了する見込みです。

今年度の防災訓練は、7月19日に大網地区を対象とした土砂災害避難訓練を、11月29日に大網小学校を会場に総合防災訓練を、来年3月7日に白里地区および福岡地区の一部を対象とした津波避難訓練



▲特別定額給付金の申請書発送作業



▲昨年行われた土砂災害避難訓練の様子

を実施する予定です。8月には市職員を対象に、風水害の発生を想定した避難場所の開設訓練を予定していますが、今年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を含めた避難所の運営方法が特に重要な課題です。台風・長雨の時期を迎える前に、実践的で効果的な訓練を実施します。

### 財政

令和元年度の会計は、決算を調整中です。決算規模は一般会計歳出ベースで159億円程度、実質収支は4億円程度と見込んでいます。

歳入は、基幹財源である市税が前年度をやや上回る見通しであり、予算は確保できる見込みです。

歳出は前年度と比較し、民間保育施設への給付費の増加や子育て交流センターの整備などに伴い、民生費の増加が見込まれるほか、教育費も、小・中学校の空調設備の整備により増加する見込みです。

本年度も、依然として厳しい財政運営が続くことから、経費の節減や市税等の歳入の一層の確保に努めます。

また、「財政健全化に向けた緊急的な取り組み」の一つとして、令和4年度を目途に都市計画税の導入に向けた作

### 総合計画

第6次総合計画は、総合計画審議会にて承認を受け、基本構想案の取りまとめを進めています。新型コロナウイルスの影響により、基本構想の策定時期の遅れが予想されますが、第4回定例会には基本構想に関する議案を提出できるよう、作業を進めます。

### 保健

市で実施している予防接種や健診等の保健事業は、新型コロナウイルスの影響を受け、4月以降、全ての事業を中断していましたが、乳幼児については、新型コロナウイルスだけでなく他の多くの病気の罹患を防ぐ必要があること、また、病気の早期発見と早期治療の対応が重要なことから、医師会との協議を経て、乳幼児の健診および集団予防接種のみ、入念な感染予防措置を講じた上で、5月中旬から再開しました。

今後は、他の保健事業についても、状況等を勘案しながら再開に向けた準備を進めます。また、国民健康保険の特定健康診査における集団健診は、短時間に多くの方が受診され、「3つの密」を回避することが困難なため、今年度の全日程を中止しました。今後の状況等を勘案しながら、個別健

### 駅周辺整備

大網駅東土地区画整理事業に関し、地権者から提起されていた行政不服再審査請求は、国土交通省から「請求棄却」の裁決が下されました。

市では、この裁決に基づき、地権者に対して移転の協力をお願いしていますが、未だご理解をいただけていない状況です。引き続き地権者のご協力を求めますが、ご協力をいただけない場合には、土地区画整理法の規定により、市が地権者に代わり建築物等の除却工事を行う「直接施行」を行い、年度内に区画整理地内の全ての土地の使用が可能となるよう努めます。

また、昨年10月の大雨により延期となった「大網駅南地区まちづくり勉強会」は、新型コロナウイルスの影響により、未だ開催できない状態です。

市の観光・レジャースポットである白里海岸および小中池公園には、例年、県内外から多くの方々にお越しいただけていますが、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ゴールデンウィークの前には駐車場等の施設の利用を制限し、県外の方に対し、来訪の自粛をお願いしてきました。緊急事態宣言の解除を受け、5月26日から駐車場の利用は可能とされていますが、観光客の誘致に向けたPRの実施は、今後の状況等を勘案しながら、検討します。

### 公共交通

また、海水浴場の開設は、県内や近隣の海水浴場を有する各自自治体と情報交換を行いながら、新型コロナウイルス感染症防止を最優先課題として、協議を行ってまいります。「おおあみしらすと」の花火は、すでに実行委員会で、オリンピック・パラリンピックの関係で中止が決定されています。これから本格的な夏期観光シーズンを迎える中、積極的なPR活動や集客イベントができないことは残念ですが、新型コロナウイルス終息後には、県内外から多くのお客様にお越しいただけるよう、関係団体と連携し、新たな企画等の検討や、今年度予定している白里海岸・小中池公園のトイレの改修を実施し、施設の魅力アップを図ります。

白里地区のコミュニティバス「はまバス」は、これまでの地区内循環ルートに加え、大網病院やアミリイ、大網駅市役所などを結ぶ市街地ルートによる運行を開始しました。新ルートでの運行開始から2か月が経過した中で、利用者からは、買い物や通院に出掛けやすくなったなどの声もいただけていますが、外出自粛要請の影響などにより、現在のところ、利用者数は当初の目標を下回っています。今後は、「はまバス」が白里地区における日常生活の交通手段としてご利用いただけるよう、引き続きPRに努めます。

### 国勢調査

立の各小・中学校は、4月7日から5月31日まで休園・休校となりましたが、6月1日から授業を再開し、小・中学校は8日から給食を開始しました。休校期間中も小・中学校は、5月7日以降、週1回程度のペースで分散登校等を実施し、それぞれの学年の実態、状況等に応じた学習課題の配付、回収、添削というサイクルにより、子どもたちの学びの向上に努めました。また、新型コロナウイルスによる家計への影響に配慮し、給食費を2か月間無償とし、6月補正予算案に所要額を計上しました。これから日々暑さが増す中で、子どもたちには空調設備が整った快適な環境の中で、安心して勉学に励んでもらえるよう、また、少しずつ以前の学校生活に戻しながら、しっかりと学習の機会を保障できるように努めます。

### 観光振興

今年度は、我が国の統計調査の中でも最も重要である国勢調査が、10月1日を基準日として実施されます。調査書類は、9月中旬から各世帯に配布予定ですが、今回の調査では、新型コロナウイルス感染症防止対策として、居住者との対面を可能な限り回避できるように、調査書類を郵便受け等に入れて配布し、回答は原則として郵送やインターネットで受け付ける方法により実施される予定です。

### 教育

今年度は、我が国の統計調査の中でも最も重要である国勢調査が、10月1日を基準日として実施されます。調査書類は、9月中旬から各世帯に配布予定ですが、今回の調査では、新型コロナウイルス感染症防止対策として、居住者との対面を可能な限り回避できるように、調査書類を郵便受け等に入れて配布し、回答は原則として郵送やインターネットで受け付ける方法により実施される予定です。今後、県等の関係機関と緊密な連携を図りながら、調査が滞りなく実施できるよう、準備を進めます。